

# 事業年報

令和元年（2019年）度



長野県立総合リハビリテーションセンター

Nagano Prefectural Rehabilitation Center

<http://www.pref.nagano.lg.jp/rehabili/index.html>

## はじめに

長野県立総合リハビリテーションセンターは、障害者支援施設、病院、身体障害者更生相談所、補装具製作施設の4つの機能を合わせ持った複合施設として、昭和49年11月に長野市下駒沢に開所いたしました。

以来、障がいがある方の社会復帰・社会参加の促進と福祉向上を目指し、様々な相談に応じるとともに、医療から機能訓練、生活訓練に至るまで一貫したリハビリテーションサービスを提供し続けてまいりました。

そのような中、昨年10月13日、台風第19号により千曲川堤防が決壊し、濁流が当センターを襲い、施設の床上40cmの浸水となったことから、入院・入所者の他病院への転院、施設の休止をせざるを得ない状況となりました。

その後、被害を受けた建物の設備、医療機器等の復旧に一丸となって取り組み、転院していただいた入院・入所者の方にもセンターにお戻りいただき、本年3月末にはセンターの機能の全面復旧を果たすことができました。医療機関、関係機関、地域の皆様に改めて感謝申し上げます。

今後は、再出発したリハビリテーションセンターにおいて、職員一同、“障がいがあっても安心して社会参加できるよう、センターを利用される皆様のニーズに応じていきます”という、当センターの理念を共有し、4つの機能の連携により、障がいを負った方々に寄り添い、長野県民の皆様に良質で効果的な治療とリハビリテーションを提供させていただくよう、より一層努力してまいります所存です。

この事業年報は、センターの概要と令和元年度の事業内容を取りまとめたものです。

県民の皆様方にはご高覧いただき、当センターの業務についてより一層のご理解をいただければ幸いです。

令和2年8月

長野県立総合リハビリテーションセンター  
所 長 田 丸 冬 彦



# 目 次

I	センターの概要	
1	目 的	8
2	沿 革	8
3	施設の規模等	10
4	組織・機能	12
II	更生相談	
1	業務概要	16
2	身体障がい者更生相談件数	17
3	内容別判定書交付件数	17
4	市町村別判定書交付件数	18
5	巡回による相談件数	19
6	心理判定・相談件数	19
7	身体障害者手帳交付件数	19
8	医療ケースワークの実施状況	19
III	障がい者支援施設	
1	生活支援部門	22
(1)	生活支援	22
(2)	健康管理・指導	23
(3)	視覚障がい者への訓練	24
(4)	ショートステイ	24
(5)	月別利用者数	24
(6)	等級別利用者数	25
(7)	障がい別利用者数	25
(8)	年齢段階別利用者数	25
(9)	郡市別利用者数	25
(10)	利用者の退所先	25
(11)	計画相談	25
2	訓練部門	26
(1)	機能訓練	26
①	機能訓練実施者数	26
②	障がい別機能訓練実施者数	26
③	理学療法における車イス等採型件数	26
④	作業療法におけるスプリント・自助具作製・グループ訓練件数	26
⑤	施設外活動状況	26
(2)	職業能力等	27
①	年間配科別利用者数	27
②	障がい別職業訓練実施者数	27
③	資格・免許等の取得状況	27
(3)	高次脳機能障がい者支援(ふるさと社)	28
①	利用対象者数	28
②	障がい別対象者数	28
③	年度末状況	28
④	諸会議開催回数	28
3	就職等の状況	28
4	苦情受付状況	28

IV	補装具製作施設	
1	業務概要	30
2	補装具巡回修理者状況	30
3	補装具製作修理件数	30
4	補装具生產品状況	30
5	疾患別補装具製作修理件数	30
6	市町村別補装具製作修理件数	31
7	補装具製作技術・知識向上研修会	31
8	補装具費支給に係る書類判定件数	31
9	補装具費支給に係る来所・巡回判定件数	31
V	医療	
1	業務概要	34
2	月別入院患者状況	34
3	性別、年齢別入院患者状況	35
4	疾患別入院患者状況	35
5	病棟別看護区分状況	36
6	外来患者診療科目別状況	36
7	月別手術状況	37
8	月別薬局処方箋枚数	37
9	麻薬管理状況	38
10	輸血用血液製剤取扱状況	38
11	薬剤管理指導算定件数	38
12	放射線業務実績表	38
13	検査室検査項目別件数	39
14	リハビリテーション(PT、OT、ST)実施延人数	39
15	リハビリテーション(PT、OT、ST)疾患群別実施単位数	39
16	疾患別リハビリテーション(PT、OT、ST)実人数	40
17	作業療法におけるスプリント・自助具作製、運転評価件数	40
VI	その他	
1	栄養管理の状況	42
2	学会・研究会などの参加状況	43
3	学会・研究会等での研究発表状況	47
4	研修会講師派遣等の状況	48
5	実習生の受け入れ状況	49
6	見学者等の状況	50
7	出前講座の開催状況	50
8	台風第19号災害による被害と復旧について	51

# I センターの概要

- 1 目 的
- 2 沿 革
- 3 施 設 の 規 模 等
- 4 組 織 ・ 機 能

# 県立総合リハビリテーションセンター

## 理 念

長野県立総合リハビリテーションセンターは、障害があっても安心して社会参加できるよう、センターを利用される皆様のニーズに応えていきます。

## 基 本 方 針

- 1 安心と満足が得られるリハビリテーションサービスに努めます。
- 1 時代のニーズに即応した効果的・効率的な運営に努めます。
- 1 地域との連携を深め、皆様の自立生活の支援に努めます。

## 職員倫理要綱

- 1 私たちは、センターの理念及び基本方針を共有し、すべての職員が連携・協力して、センターを利用される皆様の医療・福祉ニーズに応えます。
- 2 私たちは、センターを利用される皆様の権利を尊重し、誠意をもって接するとともに、信頼関係を築くよう努めます。

### センターを利用される皆様の権利

- 1) 個人として常にその人格と価値観が尊重される権利
- 2) 良質な医療・福祉サービスを公平に受ける権利
- 3) 治療や検査、福祉サービスなどについて、わかりやすく納得できるまで説明を受ける権利
- 4) 自分の受ける医療・福祉サービスについて、自らの意思により選択し、決定する権利
- 5) 個人情報保護され、プライバシーが尊重される権利

- 3 私たちは、一人ひとりが責任をもって自らの業務に従事するとともに、センターを利用される皆様の安全と安心の確保に努めます。
- 4 私たちは、より良いサービスを提供するため、自己研鑽や研修参加により、知識・技術の向上に努めます。
- 5 私たちは、長野県職員としての自覚を持ち、常にサービス水準の維持・向上とセンターの健全な運営に努めます。
- 6 障害があっても住み慣れた地域で生き生きと暮らせるよう、私たちは、保健・医療・福祉等の関係機関との連携を図ります。

## 1 目的

肢体に障害をもつ人々が、自らの潜在・残存能力の自覚を高め、自らの力でその可能性を追求し社会に復帰できるようにするため、特に人間性を重視したリハビリテーションをベースとして、医学的リハビリテーションから職業的リハビリテーションまでを有機的に統合した総合リハビリテーションのサービスを行っています。

また、身体障害者更生相談所機能を併設して、広く県下の身体障がい者の更生相談に応じ医学的、職業的、心理学的、社会学的な面からの診断、検査、判定を行うとともに、必要な助言、指導も行っています。

## 2 沿革

- (1) 長野県告示(昭和23年告示第484号)により、昭和23年10月7日「傷痍者授産所」が長野市に設置された。
- (2) 身体障害者福祉法(昭和24年法律第283号)の規定に基づき、昭和25年7月10日に「身体障害者更生相談所」、「身体障害者更生指導所」及び昭和25年7月15日「身体障害者義肢要具製作所」が長野市中御所に設置され、昭和25年8月10日に「傷痍者授産所」が「身体障害者授産所」と改称された。
- (3) 戦傷病者戦没者遺族等援護法(昭和27年法律第127号)が交付されたのに伴い、昭和27年4月1日に「身体障害者授産所」が「身体障害者更生指導所」に吸収された。
- (4) 精神薄弱者福祉法(昭和35年法律37号)が交付されたのに伴い、昭和35年9月1日に「精神薄弱者更生相談所」が同地に設置された。
- (5) 昭和39年機構改革が行われ、「精神薄弱者更生相談所」及び「身体障害者更生指導所」並びに「身体障害者義肢要具製作所」が「身体障害者更生相談所」に付置され、内部組織が庶務課、業務課、指導課の3課制となった。  
長野県身体障害者更生指導所条例(21号)制定  
長野県身体障害者更生相談所条例(22号)制定  
長野県精神薄弱者更生相談所条例(24号)制定
- (6) 昭和41年10月1日付で、「身体障害者福祉センター」が同地に設置(精神薄弱者更生相談所付置)され、庶務課、業務課(身体障害者更生相談所)、訓練課及び指導課となった。定員は、重度の身体障がい者60人、肢体不自由者50人とされ、同年12月に長野市下駒沢の新庁舎に移転するとともに、「身体障害者更生相談所」、「身体障害者更生指導所」、「身体障害者義肢要具製作所」は廃止された。
- (7) 昭和46年4月1日 「精神薄弱者更生相談所」が長野県中央児童相談所に移管
- (8) 昭和46年5月1日 同地に自動車運転訓練場が完成し、同14日から職業訓練の一端として自動車運転練習が開始された。
- (9) 昭和47年11月 「リハビリテーションセンター」の建設が同地で着工
- (10) 昭和48年1月19日付で「病院開設許可申請書」を長野県知事に提出し、昭和48年2月3日付長野県指令47医第419号をもって開設が許可され、昭和49年11月1日付で病院が開設
- (11) 昭和49年10月31日 定員が次のように改正され、昭和49年11月1日より施行された。  
重度の肢体不自由者 60人 入所診療 30人 その他の肢体不自由者 50人
- (12) 昭和49年11月1日付で「身体障害者福祉センター」が廃止になり、同日付で「長野県身体障害者リハビリテーションセンター」として設置され、庶務部、指導部、医務部及び更生相談室が設置された。
- (13) 昭和51年 職業訓練棟及びモデル住宅が完成
- (14) 昭和51年4月1日付けで医務部に看護科を設置
- (15) 昭和53年 居住棟(東寮等)を増改築
- (16) 昭和54年4月1日より定員が次のように改正  
重度の肢体不自由者 110人 入所診療 34人 その他の肢体不自由者 30人
- (17) 昭和54年 寮、デイルーム、学習室、図書室等を改築
- (18) 昭和55年3月 屋外歩行訓練場を新設
- (19) 昭和56年12月 新病棟(鉄筋3階建延3, 836㎡)等の新築工事に着手
- (20) 昭和58年3月 新病棟、医師住宅、看護婦寮が完成

- (21) 昭和58年4月1日から病床数80床となる。
- (22) 昭和59年3月 エックス線棟、霊安棟を新築
- (23) 昭和59年11月 管理医療棟、機能訓練棟等を改修
- (24) 平成4年3月 MRI棟を新築
- (25) 平成4年4月1日から庶務部を管理部に組織改正
- (26) 平成5年4月1日から管理部業務課を管理部栄養課に組織改正するとともに、身体障害者福祉法改正に伴い「更生相談所」に身体障害者福祉司を配置
- (27) 平成7年3月 施設棟を改築(鉄筋2階建延6, 770. 58㎡)
- (28) 平成7年4月1日 管理部庶務課に庶務係及び業務係、医務部に薬剤検査科を設置
- (29) 平成7年4月1日から視覚障害者の更生訓練も実施できる施設に改正
- (30) 平成7年12月20日 居住棟、給食棟、体育館等を解体
- (31) 平成8年4月1日 看護科を廃止し、看護部を設置
- (32) 平成8年7月3日 自動車運転訓練場を移転改築
- (33) 平成9年3月1日から内科医師が常勤となった。
- (34) 平成9年3月 CT棟を新築
- (35) 平成12年10月 多目的X線テレビ装置を導入
- (36) 平成13年10月 MRI装置を更新
- (37) 平成16年5月 高次脳機能障害支援拠点病院に指定された。
- (38) 平成16年10月16日 開設30周年記念事業を挙行
- (39) 平成17年8月 高次脳機能障害者自立支援訓練事業として「ふるさと社」の活動を開始
- (40) 平成18年4月1日 名称を「長野県立総合リハビリテーションセンター」と改称
- (41) 平成18年10月1日 障害者自立支援法(平成18年4月1日施行)による新体系サービスに移行し、定員を次のように改正  
生活介護20人、自立訓練90人、就労移行支援30人、(施設入所支援140人、短期入所4人)
- (42) 平成19年4月1日から麻酔科医師が常勤となった。
- (43) 平成20年3月 施設棟の中に生活訓練室及び自動車教習訓練場に研修室を設置
- (44) 平成21年3月 病室の改修により個室2室を設置し、4月1日から運用を開始
- (45) 平成21年4月1日 薬剤検査科にあった診療放射線部門を放射線技術科として独立させ、理学療法科、作業療法科、言語聴覚療法科、義肢装具科を医務部から分離し、リハビリテーション療法部とした。
- (46) 平成21年4月1日から障害者支援施設の定員を次のように改正  
生活介護6人、自立訓練68人、就労移行支援6人、(施設入所支援80人、短期入所4人)
- (47) 平成21年6月からオーダーリングシステムを導入し、効率化を図った。
- (48) 平成22年6月からMRIを1. 5テスラに更新し、運用を開始
- (49) 平成22年8月 利用者がいなくなったため、職員宿舎等5棟を解体
- (50) 平成24年4月1日から栄養課の調理部門を民間委託とした。
- (51) 平成24年9月1日からCTを64列に更新し、運用を開始
- (52) 平成25年4月1日から相談支援事業を開始
- (53) 平成28年3月からオーダーリングシステムを更新
- (54) 平成30年12月から電子カルテシステムの運用を開始
- (55) 令和元年10月13日 台風第19号浸水被害により診療休止
- (56) 令和2年3月30日 CT、MRI等医療機器更新
- (57) 令和2年3月30日 センター機能が完全復旧

### 3 施設の規模等

(1) 名称 長野県立総合リハビリテーションセンター  
所在地 長野市大字下駒沢618-1

(2) 設置及び管理者 長野県

(3) 種別及び定員 (令和2年4月1日現在)

施設の種別	定員
障害者支援施設 (視覚障害者10人を含む)	生活介護6人、機能訓練62人、生活訓練6人、就労移行支援6人 (施設入所支援60人、短期入所4人)
病院	一般病棟 80人
身体障害者更生相談所	—
補装具製作施設	—

(4) 配置図 別図のとおり

(5) 規模(令和2年4月1日現在)

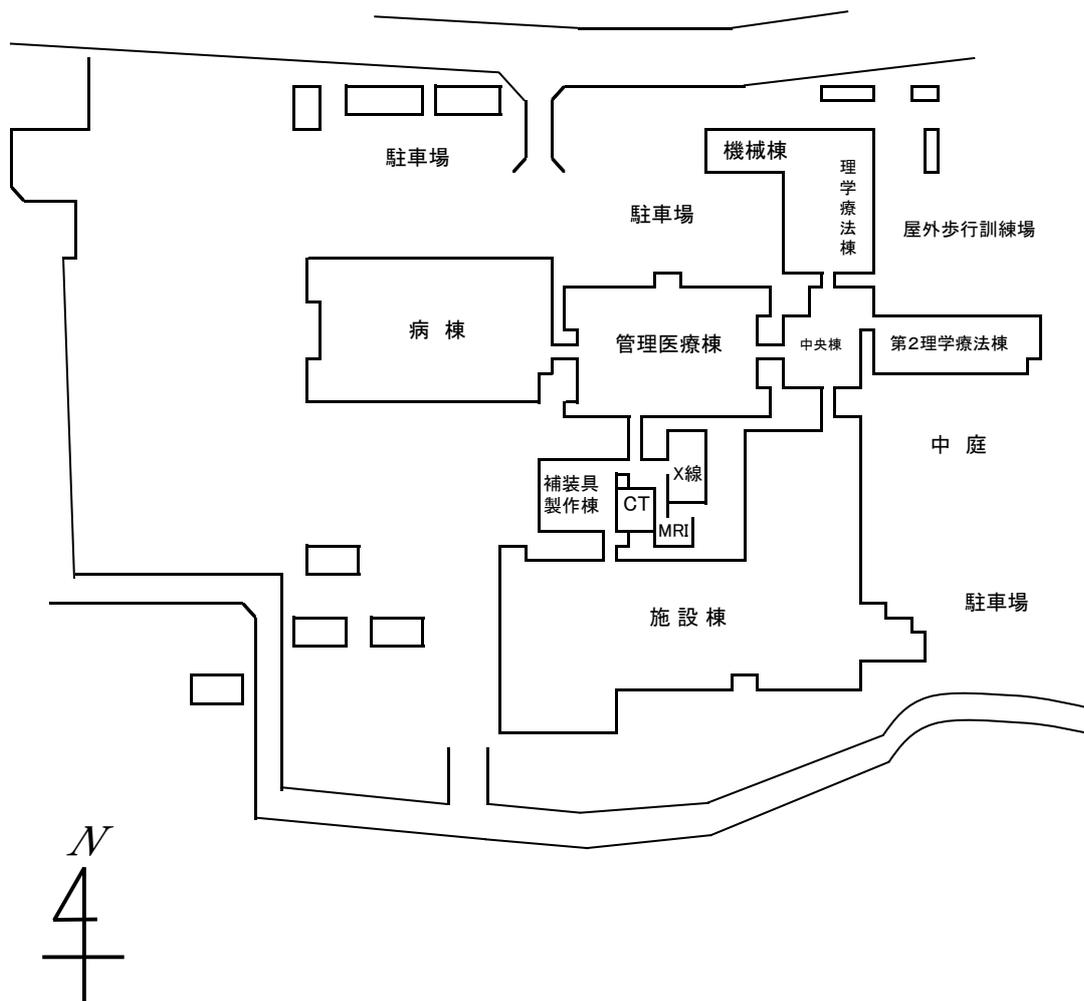
敷地面積:42,331.95㎡ 建物面積:16,698.58㎡

建物内訳

(単位: ㎡)

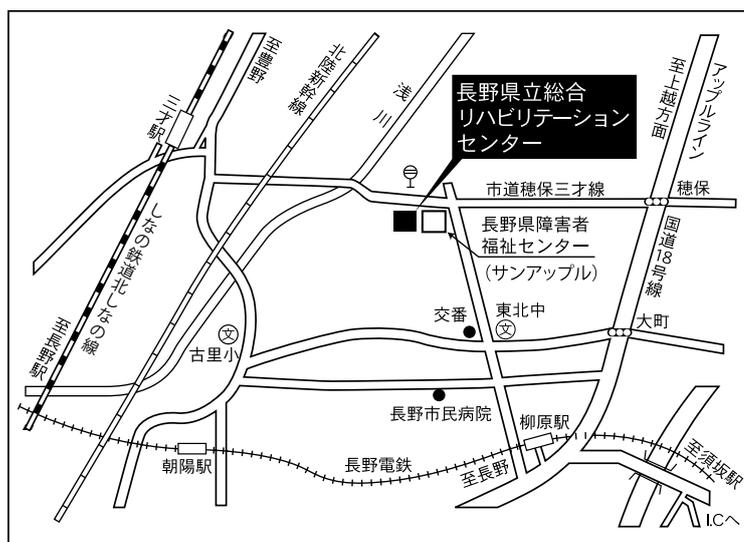
施設				その他	
管理医療棟	2,611.42	C T 棟	95.34	医師住宅2棟	201.00
病棟	3,787.58	中央棟	357.03		
施設棟	6,770.58	機械棟	436.22		
理学療法棟	1,091.10	その他廊下等	290.39		
補装具製作棟	359.90	屋外施設管理棟	176.66		
X線棟	253.59	自動車教習訓練所研修室	9.60		
M R I 棟	88.00	小計	16,327.41		

## 配置図



## 交通のご案内

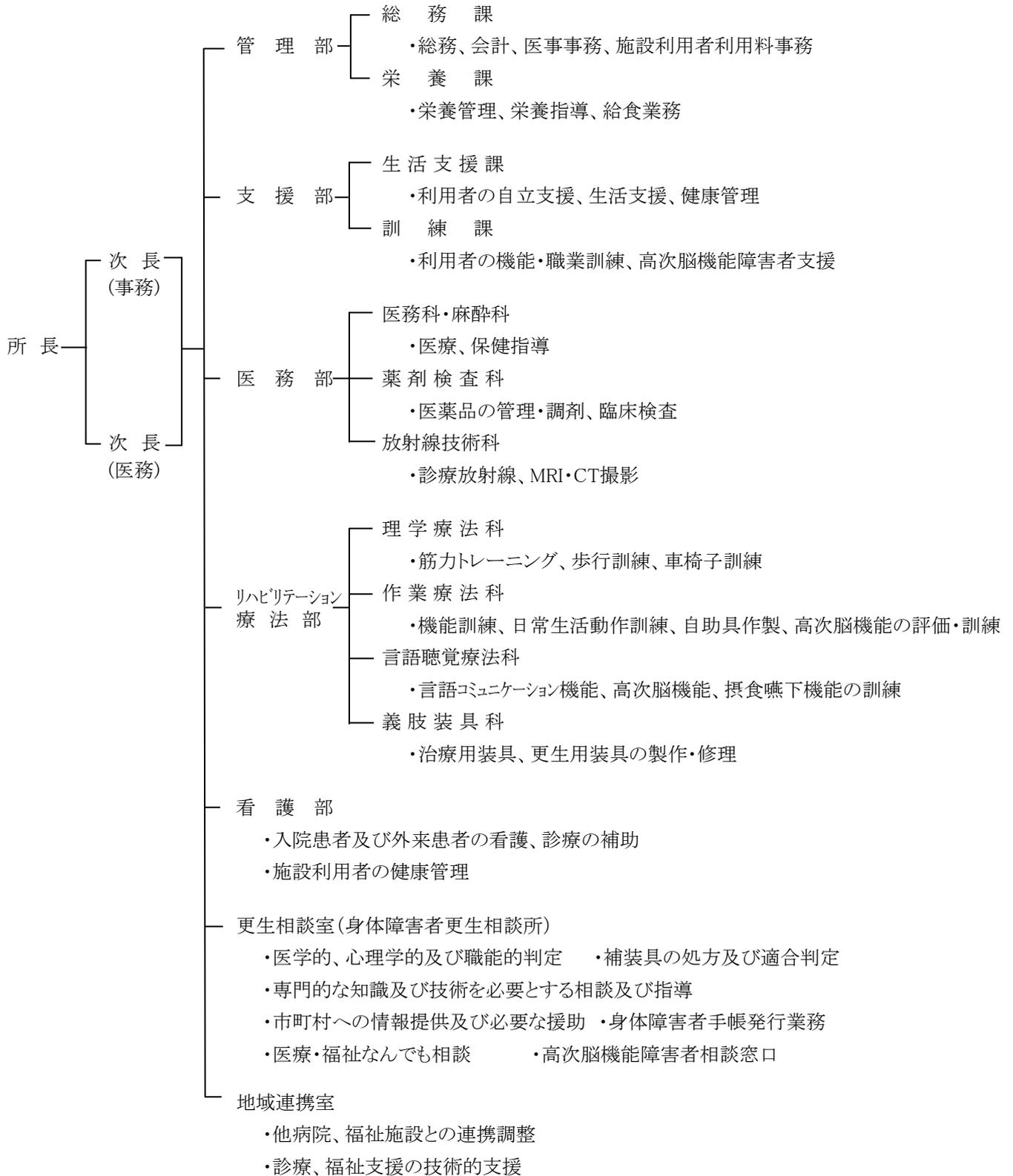
- ①長電バス  
宇木、三才駅、市民病院経由、柳原行「リハビリセンター」下車 徒歩約100m  
※スロープ付バスの運行を行っています。
- ②しなの鉄道北しなの線「三才駅」下車  
徒歩約20分
- ③長野電鉄電車「柳原駅」下車 徒歩約35分
- ④上信越自動車道「須坂長野東インター」から  
村山橋経由約15分



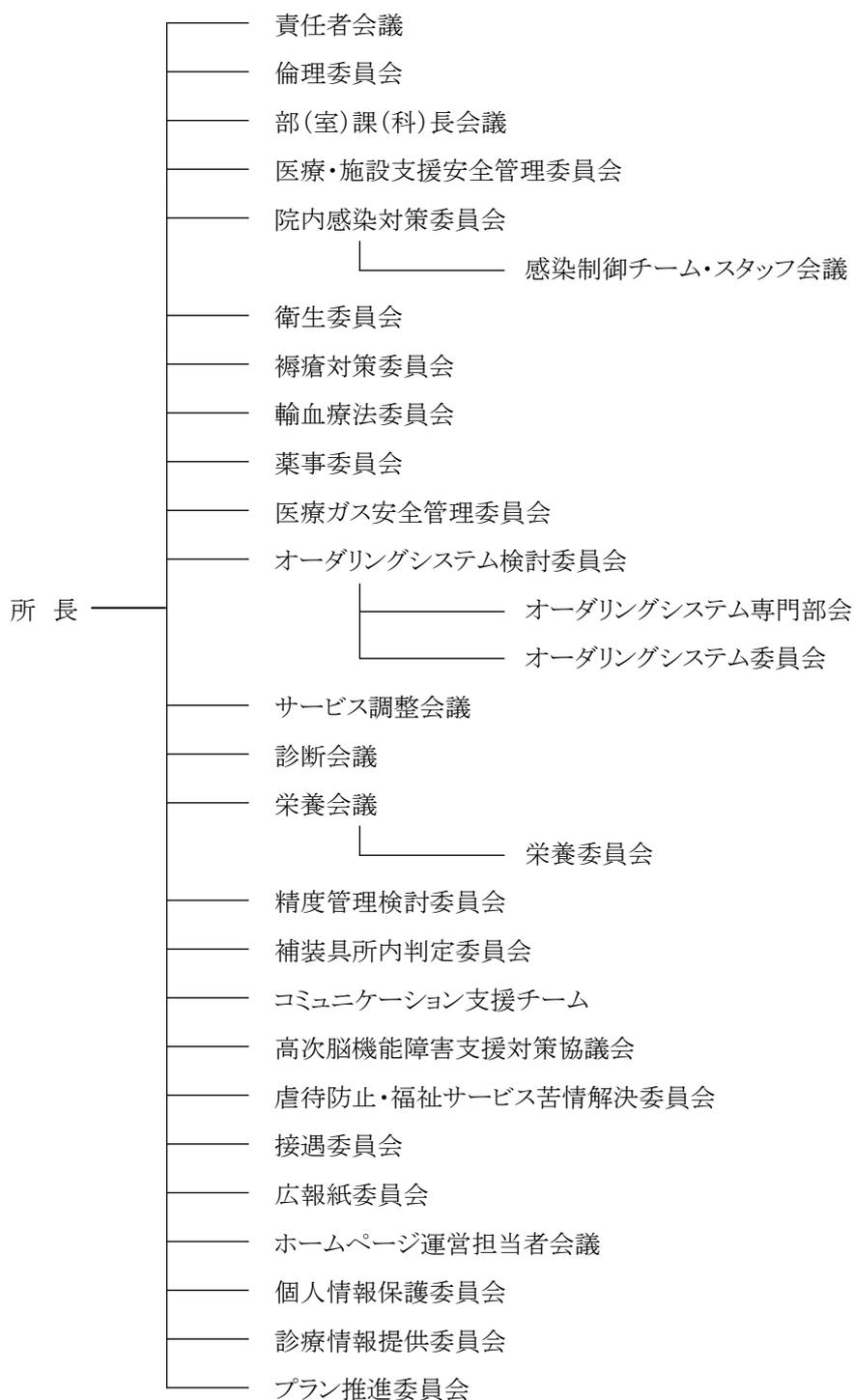
## 4 組織・機能

当センターは、障害者支援施設、病院、補装具製作施設及び身体障害者更生相談所の機能を有し、各機能が有機的に統合された総合リハビリテーションセンターです。

### (1) 組織・機構(令和2年4月1日現在)



(2) 会議・委員会



(3) 職員構成 (令和2年5月1日現在)

職員 118 人  
 所長 1 人 (脳神経内科医)  
 次長 2 人 (事務 1、医務 1)

(単位: 人)

部名	課名	職 種	現員数
管 理 部	部 長(次長(事務)兼務)		(1)
	総務課	課 長	1
		担 当 係 長	1
		事 務 職 員	3
	栄養課	課 長	1
担 当 係 長		1	

部名	課名	職 種	現員数
支 援 部	部 長		1
	生活 支援課	課 長	1
		生活支援専門員	1
		生活支援員	12
		(兼)看護師長	(1)
		(兼)看護師	(7)
	訓練課	(兼)課 長	(1)
		訓練指導専門員	1
		訓練指導員	1
		(兼)理学療法士	(3)
(兼)作業療法士		(3)	

(単位: 人)

部名	課名	職 種	現員数
医 務 部	部 長		1
	医務科	科 長	1
		医 監	1
	麻酔科	科長(医務科長兼務)	(1)
	薬剤 検査科	科 長	1
		医療技術専門員	3
	放射線 技術科	科 長	1
		診療放射線技師	2

部名	課名	職 種	現員数
リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 療 法 部	部 長(次長(医務)兼務)		(1)
	理学 療法科	科 長	1
		医療技術専門員	1
		理学療法士	11
	作業 療法科	科 長	1
		作業療法士	7
	言語聴覚 療法科	科 長	1
		言語聴覚士	2
	義肢 装具科	科 長	1
		義肢装具士	2

【臨任・非常勤等】

医 師 3 人  
 更生相談判定医師 8 人  
 会計年度任用職員 27 人  
 育休任期付職員 3 人 (現員数に含む)  
 臨時的任用職員 11 人

合 計 52 人

部 名	職 種	現員数
看 護 部	部 長	1
	副 看 護 部 長	1
	看 護 技 幹	3
	看 護 師 長	4
	看 護 師	37

室 名	職 種	現員数
更 生 相 談 室	室 長	1
	事 務 職 員	1
	身体障害者福祉司	4
保健福祉事務所駐在	(兼) 身体障害者福祉司	(10)

室 名	職 種	現員数
地 域 医 療 福 祉 連 携 室	室 長	1
	看 護 師	1
	事 務 職 員	(2)

## Ⅱ 更生相談

- 1 業務概要
- 2 身体障がい者更生相談件数
- 3 内容別判定書交付件数
- 4 市町村別判定書交付件数
- 5 巡回による相談件数
- 6 心理判定・相談件数
- 7 身体障害者手帳交付件数
- 8 医療ケースワークの実施状況

## 1 業務概要

障がい者の医療・福祉の相談支援や身体障害者手帳の発行業務を行うとともに、県の身体障害者更生相談所として、身体障がい者の補装具費、自立支援医療(更生医療)費の支給に係る医学的判定を行い、遠隔地に居住する障がい者に対しては巡回による相談、判定、指導を行いました。

また、市町村職員等を対象として、身体障がい者の相談・援護を実施する上で必要とされる専門的な知識・技術を提供するための研修を行いました。

さらに、研修の機会等を活用し、障がい者の自立生活に向けて当センターの活用が図られるよう、センターの医療部門、障がい者支援施設部門等について周知を図り、利用の促進に努めました。

なお、台風第19号災害のため10月13日から休止していた業務は、10月16日施設棟2階で再開しました。

### (1) 定例相談判定

担当医師は次のとおり

肢 体 不 自 由	田 丸 冬 彦	(所長)
		ほか当センター医師
腎 臓 障 害	大 西 雄 太 郎	(千曲中央病院名誉院長)
	洞 和 彦	(北信総合病院院長)
	神 應 裕	(神應透析クリニック院長)
聴覚・言語機能障害	根 津 公 教	(長野赤十字病院耳鼻咽喉科部長)
内 部 障 害	吉 岡 二 郎	(長野赤十字病院院長)
	古 川 賢 一	(飯山赤十字病院医師)
	増 渕 雄	(長野赤十字病院感染症内科部長)
視 覚 障 害	風 間 淳	(長野市民病院眼科部長)

### (2) 巡回相談

次のとおり実施しました。

実施 期 日	対 象 地 域 (実 施 場 所)	摘 要
平成31年4月18日	中信地区 (松本合同庁舎、松本医療センター)	笠間科長
令和1年5月9日	東信地区 (佐久市役所、鹿教湯病院、三才山病院)	笠間科長
令和1年6月12日	南信地区 (飯田市役所)	依田医監
令和1年7月19日	中信地区 (松本合同庁舎、松本医療センター)	上條医監
令和1年8月21日	東信地区 (佐久合同庁舎、鹿教湯病院、三才山病院)	立岩部長
令和1年9月6日	南信地区 (伊那市役所)	清野次長
令和1年10月16日	中信地区 (松本合同庁舎、松本医療センター)	田丸所長
令和1年11月13日	東信地区 (佐久合同庁舎)	依田医監
令和1年12月13日	南信地区 (飯田市役所)	上條医監
令和2年1月22日	中信地区 (松本合同庁舎、松本医療センター)	立岩部長
令和2年2月21日	東信地区 (佐久合同庁舎、鹿教湯病院)	清野次長
令和2年3月11日	南信地区 (伊那市役所)	田丸所長

### (3) 市町村等身体障がい者福祉事務担当者研修会

市町村及び県保健福祉事務所で新たに身体障がい者福祉事務を担当することとなった職員を対象として、身体障害者手帳、更生医療及び補装具判定に関する基本的な事務手続きについて説明するため、次のとおり研修会を開催しました。

《長野会場》	4月17日(水)	サンアップル	参加者34名
《塩尻会場》	4月24日(水)	塩尻総合文化センター	参加者50名

### (4) 補装具費支給事務専門研修会

適正な補装具費の支給に資するため、市町村の補装具事務担当者、医療機関の相談員、補装具業者等を対象として、6月19日(水)に県総合教育センターにおいて研修会を開催し、116名の参加がありました。

## 2 身体障がい者更生相談件数

(単位: 件)

相談内容	肢体不自由	視覚障害	聴覚障害	言語機能障害	内部障害	高次脳機能障害	計	前年度	
更生医療	38	0	13	9	921	0	981	995	
補装具	1,564	10	848	0	5	0	2,427	2,390	
身体障害者手帳	1,239	50	20	0	1,110	7	2,426	2,662	
職業相談	16	0	0	0	0	8	24	8	
施設入所	563	2	0	0	0	118	683	505	
生活相談	304	0	0	0	0	40	344	621	
その他	1,484	0	5	3	0	176	1,668	1,695	
計	5,208	62	886	12	2,036	349	8,553	8,876	
実人員							7,192	8,052	
前年度	計	5,964	110	564	25	1,742	471	8,876	
	実人員							8,052	

「福祉行政報告例 第17 身体障害者更生相談所における処理」に基づく。(巡回相談等を含む。)

## 3 内容別判定書交付件数

### (1) 更生医療

種 別	交付件数	前年度
肢 体 不 自 由	38	98
心 臓	172	206
じ ん 臓	568	561
音声・言語・そしゃく	8	17
聴 覚	13	11
視 覚	0	0
小 腸	0	0
免 疫	89	89
肝 臓	0	7
そ の 他	0	0
計	888	989

### (2) 補装具給付

種 別	交付件数	前年度
義 手	5	3
義 足	14	13
上 肢 装 具	1	4
下 肢 装 具	124	134
体 幹 装 具	4	6
靴 型 装 具	13	7
足 底 装 具	3	4
座位保持装置	17	11
車 い す	70	70
電 動 車 い す	28	27
起立保持具	8	9
歩 行 器	1	1
眼 鏡 等	0	1
補 聴 器	459	424
意思伝達装置	13	9
そ の 他	1	1
計	761	724

#### 4 市町村別判定書交付件数

(単位：件)

市町村	更生医療	補装具	合計	前年度
長野市	71	111	182	195
松本市	270	70	340	336
上田市	131	62	193	187
岡谷市	10	16	26	25
飯田市	46	34	80	91
諏訪市	4	7	11	16
須坂市	12	13	25	32
小諸市	24	20	44	55
伊那市	10	20	30	29
駒ヶ根市	1	12	13	19
中野市	8	20	28	10
大町市	19	14	33	33
飯山市	1	5	6	3
茅野市	13	12	25	25
塩尻市	41	15	56	71
佐久市	16	84	100	98
千曲市	37	23	60	54
東御市	20	8	28	30
安曇野市	23	24	47	56
<b>市計</b>	<b>757</b>	<b>570</b>	<b>1,327</b>	<b>1,365</b>

小海町	4	5	9	12
佐久穂町	7	15	22	22
川上村	4	5	9	4
南牧村	2	0	2	3
南相木村	0	1	1	0
北相木村	2	0	2	2
<b>南佐久郡計</b>	<b>19</b>	<b>26</b>	<b>45</b>	<b>43</b>
軽井沢町	8	8	16	15
御代田町	10	9	19	20
立科町	1	9	10	4
<b>北佐久郡計</b>	<b>19</b>	<b>26</b>	<b>45</b>	<b>39</b>
長和町	1	5	6	8
青木村	1	2	3	4
<b>小県郡計</b>	<b>2</b>	<b>7</b>	<b>9</b>	<b>12</b>
下諏訪町	13	4	17	20
富士見町	2	3	5	4
原村	1	5	6	5
<b>諏訪郡計</b>	<b>16</b>	<b>12</b>	<b>28</b>	<b>29</b>
辰野町	2	3	5	11
箕輪町	7	10	17	15
飯島町	3	2	5	3
南箕輪村	2	6	8	8
中川村	8	2	10	5
宮田村	4	1	5	8
<b>上伊那郡計</b>	<b>26</b>	<b>24</b>	<b>50</b>	<b>50</b>

市町村	更生医療	補装具	合計	前年度
松川町	2	8	10	5
高森町	3	10	13	14
阿南町	1	6	7	6
阿智村	4	6	10	11
平谷村	0	0	0	0
根羽村	0	1	1	0
下條村	0	1	1	1
壳木村	0	1	1	0
天龍村	0	0	0	1
泰阜村	1	1	2	3
喬木村	1	7	8	2
豊丘村	0	4	4	1
大鹿村	1	0	1	4
<b>下伊那郡計</b>	<b>13</b>	<b>45</b>	<b>58</b>	<b>48</b>
上松町	2	0	2	4
南木曾町	3	2	5	3
木曾町	2	0	2	4
木祖村	1	0	1	5
王滝村	0	0	0	0
大桑村	1	1	2	1
<b>木曾郡計</b>	<b>9</b>	<b>3</b>	<b>12</b>	<b>17</b>
麻績村	3	2	5	8
生坂村	1	1	2	3
山形村	11	4	15	16
朝日村	2	0	2	5
筑北村	2	1	3	4
<b>東筑摩郡計</b>	<b>19</b>	<b>8</b>	<b>27</b>	<b>36</b>
池田町	0	5	5	10
松川村	1	5	6	8
白馬村	3	1	4	8
小谷村	0	1	1	0
<b>北安曇郡計</b>	<b>4</b>	<b>12</b>	<b>16</b>	<b>26</b>
坂城町	7	12	19	25
<b>埴科郡計</b>	<b>7</b>	<b>12</b>	<b>19</b>	<b>25</b>
小布施町	1	2	3	1
高山村	1	2	3	0
<b>上高井郡計</b>	<b>2</b>	<b>4</b>	<b>6</b>	<b>1</b>
山ノ内町	0	5	5	5
木島平村	0	1	1	1
野沢温泉村	0	0	0	1
<b>下高井郡計</b>	<b>0</b>	<b>6</b>	<b>6</b>	<b>7</b>
信濃町	2	6	8	8
飯綱町	2	0	2	5
小川村	1	2	3	2
<b>上水内郡計</b>	<b>5</b>	<b>8</b>	<b>13</b>	<b>15</b>
栄村	0	0	0	0
<b>下水内郡計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>町村計</b>	<b>141</b>	<b>193</b>	<b>334</b>	<b>348</b>

<b>合計</b>	<b>898</b>	<b>763</b>	<b>1,661</b>	<b>1,713</b>
-----------	------------	------------	--------------	--------------

<b>前年度</b>	<b>989</b>	<b>724</b>	<b>1,713</b>
------------	------------	------------	--------------

## 5 巡回による相談件数(再掲)

全12回

相談内容	人数	前年度
更生医療	0	0
補装具	45	56
身体障害者手帳	0	0
職業相談	0	0
施設入所	0	0
生活相談	0	0
その他	0	0
延べ人員	45	56
実人員	45	56

## 6 心理判定・相談件数

項目	種別	延人数	前年度
心理検査・相談・ 訓練	来所(外来)	34	39
	当センター入所中	93	91
	当センター入院中	81	71
入所判定	来所	21	38
	巡回・訪問	0	0
計		229	239

## 7 身体障害者手帳交付件数

交付等内容	件数	前年度
新規交付	4,298	4,286
再交付(程度変更)	1,625	1,622
再発行(紛失・破損)	798	937
計	6,721	6,845

(注) 長野市分を除く。

## 8 医療ケースワークの実施状況

項目	対応患者		面接・支援会議の実施	
	延べ人数	前年度	延べ回数	前年度
入院	75	63	182	183
外来	35	50	78	30
計	110	113	260	213



# Ⅲ 障がい者支援施設

## 1 生活支援部門

- (1) 生活支援
- (2) 健康管理・指導
- (3) 視覚障がい者への訓練
- (4) ショートステイ
- (5) 月別利用者数
- (6) 等級別利用者数
- (7) 障がい別利用者数
- (8) 年齢段階別利用者数
- (9) 郡市別利用者数
- (10) 利用者の退所先
- (11) 計画相談

## 2 訓練部門

- (1) 機能訓練
  - ① 機能訓練実施者数
  - ② 障がい別機能訓練実施者数
  - ③ 理学療法における車イス等採型件数
  - ④ 作業療法におけるスプリント・自助具作製・グループ訓練件数
  - ⑤ 施設外活動状況
- (2) 職業能力等
  - ① 年間配科別利用者数
  - ② 障がい別職業訓練実施者数
  - ③ 資格・免許等の取得状況
- (3) 高次脳機能障がい者支援(ふるさと社)
  - ① 利用対象者数
  - ② 障がい別対象者数
  - ③ 年度末状況
  - ④ 諸会議開催回数

## 3 就職等の状況

## 4 苦情受付状況

## 1 生活支援部門

障がい者が自らその障害を克服し、早期に社会参加が可能となるよう、次の目標に向けて必要な日常生活訓練、理学・作業療法(機能訓練)、健康管理指導を実施すると共に、家庭や地域での生活の質(QOL)の向上に努めました。

○就労による社会的自立を目指す。

○地域の支援サービスを有効に活用し、地域での自立した生活を目指す。

○地域生活の移行が困難な者については、家庭により近い生活施設等への移行を目指す。

なお、台風第19号災害のため10月13日から業務休止。12月28日施設棟2階で障害者支援施設を再開。

### (1) 生活支援

利用者個々の訓練目標を定め、明確な目標意識をもって訓練に励めるよう留意しながら、日常生活動作(ADL)訓練を実施し、合わせて教養講座、社会適応訓練・社会見学、クラブ活動などの社会参加活動の支援を行いました。

#### ア 教養講座

知識を広め教養を高めるとともに、社会生活への適応能力や訓練意欲の向上を図りました。

実施日	講演内容	場所	参加人員
R1.8.28	「食生活と健康」 講師:堀内 亜矢子(当センター栄養課長)	施設棟 食堂 (健康管理教室と共催)	22人

#### イ 社会適応訓練

社会人としての生活技能・知識を習得するため、施設外における移動訓練を実施しました。

実施日	内容	場所	参加人員
R1.6.20	自家用車での運転	センター～市内(GS・スーパー)	1人
R1.7.1	公共交通機関の利用(バス・電車利用)	センター～自宅(下諏訪町)	1人
R1.7.4	公共交通機関の利用(バス・電車利用)	センター～長野市(自宅)	1人
R2.2.26	携帯電話の機種変更に伴う公共交通機関の利用(バス利用)	センター～市内(ドコモショップ若槻店)	1人

#### ウ レクリエーション・スポーツ

サンアップルと共同で、利用者の機能維持・新たな能力の発見・ストレスの発散を図るとともに、更生意欲の向上、退所後の社会参加の促進に結びつけることを目指しました。

実施日	内容	場所	参加人員	
R1	5月 16,23,30日	フライングディスク、バスケットボール、アーチェリー	サンアップルアーチェリー場	1回平均 11人 25名程度
	6月 13,20,27日	卓球、4面卓球バレー大会、バドミントン	サンアップルアーチェリー場	
	7月 11,25日	ボッチャ、ゲートボール	サンアップル体育館	
	8月 8,22,29日	ボッチャ、ゲートボール	サンアップル体育館	
	9月 5,12日	卓球、大玉種目	サンアップル体育館	
	10月 10日	アーチェリー	サンアップルアーチェリー場	
R2	1月 23日	ピンポン投げ、バドミントンゴルフ、ボッチャ	PT室	
	2月 6,20日	卓上ホッケー、ピンポンダーツ	PT室	
	3月 5,12,26日	カローリング、ボッチャ、四面卓球バレー	PT室	
	毎月第1木曜日	レクリエーション(ボードゲーム等)	施設棟食堂	

エ クラブ活動

手工芸の教室を開催し、個々の自主性の伸長や趣味の拡大を図るとともに知識の習得や利用者相互の理解を深めました。

クラブ名	開催回数	参加延べ人員	場 所	内 容
押し花教室	3回	11人	施設棟 2階会議室	ボランティアに協力を依頼し、趣味の拡大、集団交流、余暇利用の場としてグループ活動を行いました。
折り紙教室	6回	22人	施設棟 2階会議室	
カラオケクラブ	17回	48人	サンアップル203会議室	

オ その他

実 施 日	内 容	場 所
R1.7.24	サマーコンサート	施設棟 食堂
R1.7.29	施設棟避難訓練(昼間想定)	(被害想定) 施設棟2階湯沸かし室より出火 (避難場所) 1F食堂 2Fパソコン室前
毎月第2木曜日 (8月なし、11月以降被災のため中止)	動物ふれあい訪問	施設棟 2階ダイルーム

(2) 健康管理・指導

ア 健康管理

利用者の健康保持・増進のため、保健指導・健康管理等を行うとともに定期的に健康相談を実施しました。

実 施 日	実 施 内 容	対 象 者
H31.4.1～ R2.3.31	血圧測定(毎日・週1回) 体重測定(週1回・月1回) 個別指導:疾患別・症状に応じて実施 ・外来受診 ・家族への指導 ・服薬管理(自己管理指導) ・褥創予防、尿路管理指導等	毎日平均 20 人 エネルギー制限者他・全員 全員 受診(所外受診含む) 延べ人員 1,016 人 月平均 85 人 所外受診者 述べ人員 135 人
H31.4.8～ R1.9.30	医師健康相談(週1回)	延べ人員 18 人
R1.5.16～ R2.3.26	レクスボ教室事前健康指導	延べ人員 210 人 1回平均 11 人
(実施せず)	インフルエンザ予防接種	0 人
(実施せず)	肺炎球菌ワクチン予防接種	0 人

イ 時間外緊急時医療対応

H31.4.1～R2.3.31	発熱、腹痛、尿路感染、てんかん等	延べ人員 18 人
-----------------	------------------	-----------

ウ 健康増進

日常生活において注意しなければならない内容を学習し、個々の健康意識の高揚を図りました。

実 施 日	実 施 内 容	参 加 者 数
R1.8.28	健康管理教室「食生活と健康」	22 人

(3) 視覚障がい者への訓練

視覚障がい者の社会適応能力の回復・向上のために必要な知識、技能が取得できるよう実践的な訓練（歩行・日常生活技術・コミュニケーション・その他）を実施しました。

訓練 時間 内 訳	訓練内容	時間	訓練内容	時間
	点字	0時間	日常	4時間
	パソコン・スマートフォン	19時間	その他	3時間
	歩行	71時間		
実人員	3人	訓練総時間	97時間	
前年度	3人	前年度	501時間	

(4) ショートステイ

介護者の都合等により、家庭において一時的に介護を受けることが困難となった身体障がい者を、受け入れました。

延べ人員	45人	実施延日数	313日
前年度	83人	前年度	541日

(注) 日中活動支援付ショートステイ利用者を含む。

(5) 月別利用者数

区分		月別												合計	前年度
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
機能訓練	入所者数	2	3	3	5	7	5	2	0	0	3	3	5	38	53
	退所者数	9	4	6	1	5	6	18	3	1	1	1	0	55	51
	初日在籍者数	38	31	30	27	29	28	28	16	13	12	14	16	平均 23.5	平均 41.6
生活訓練	入所者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	退所者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	初日在籍者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	平均0	平均 1.6
就労移行	入所者数	0	0	0	0	0[1]	0	0[1]	0	0	0	0	0	0[2]	0
	退所者数	0	0	0	0	0[1]	0	0[1]	0	0	0	0	0	0[2]	2[1]
	初日在籍者数	0	0	0	0	0[1]	0	0[1]	0	0	0	0	0	平均0	平均 1.3
生活介護	入所者数	3	3	4	7	5	6	1	0	0	0	0	2	31	64
	退所者数	2	4	4	5	5	8	2	0	0	0	0	2	32	63
	初日在籍者数	0	1	0	1	2	3	1	0	0	0	0	0	平均 0.7	平均 1.1
計	入所者数	5	6	7	12	12	11	3	0	0	3	3	7	69	117
	退所者数	8	8	10	6	10	14	20	3	1	1	1	2	84	119
	初日在籍者数	41	32	30	28	31	31	29	16	13	12	14	16	平均 24.4	平均 45.5
1日平均利用者数		35.6	32.0	28.6	30.6	34.8	36.6	31.7	15.4	12.7	13.6	14.9	19.1	平均 25.4	平均 47.0

(注) 日中活動支援付ショートステイ利用者を含む。[ ]内は併給で外数。

台風第19号災害のため、10月13日から12月27日まで業務休止。

## (6) 等級別利用者数

級 別	利用者数	前年度
1 級	34	28
2 級	25	44
3 級	3	8
4 級	1	3
5 級	3	2
6 級	1	2
生活訓練	6	3
計	73	90

## (7) 障がい別利用者数

障 が い 別	利用者数	前年度
脳 血 管 障 が い	38	52
脊 髄 損 傷 及 び 脊 髄 疾 患	15	17
頭 部 外 傷	2	3
切 断	2	3
骨 ・ 関 節 疾 患	0	1
脳 性 マ ヒ	3	4
神 経 ・ 筋 疾 患	1	1
視 覚 障 が い	4	3
そ の 他	8	6
計	73	90

## (8) 年齢段階別利用者数 \*4月1日を年齢基準日とする。

年齢区分	利用者数			比率(%)
	男性	女性	全体	
19歳以下	0	0	0	0.0%
20～29	2	3	5	6.8%
30～39	1	2	3	4.1%
40～49	16	5	21	28.8%
50～59	22	4	26	35.6%
60～64	7	1	8	11.0%
65歳以上	8	2	10	13.7%
全体	56	17	73	100.0%

## (9) 郡市別利用者数

郡市別	長野市	松本市	上田市	岡谷市	飯田市	諏訪市	須坂市	小諸市	伊那市	駒ヶ根市	中野市	大町市	飯山市	茅野市	塩尻市	佐久市	千曲市	東御市	安曇野市	小計
人員	30	4	6	1	0	1	4	0	1	0	4	2	0	1	0	2	3	0	1	60
前年度	39	2	6	1	0	0	3	1	0	1	3	2	1	2	0	3	6	0	2	72

郡市別	南佐久郡	北佐久郡	小県郡	諏訪郡	上伊那郡	下伊那郡	木曾郡	東筑摩郡	北安曇郡	埴科郡	上高井郡	下高井郡	上水内郡	下水内郡	県外	小計	合計
人員	0	2	1	1	1	0	0	0	1	1	2	0	0	3	1	13	73
前年度	0	1	1	1	2	0	0	1	1	2	2	0	3	0	4	18	90

## (10) 利用者の退所先

家庭に復帰した利用者は43名で全体の8割弱を占めている。その内7名(家庭復帰した利用者の16%)が一般就労又は復職しています。

退所先	家庭復帰					施設入所				その他				合計
	復職・就職	福祉的就労	進学・復学	その他(在宅生活)	小計	障がい者支援施設等	介護保険施設等	その他施設	小計	病院	死亡	利用区分変更等	小計	
人員	7	3	0	33	43	1	6	0	7	1	0	0	1	51
構成比	13.7%	5.9%	0.0%	64.7%	84.3%	2.0%	11.7%	0.0%	13.7%	2.0%	0.0%	0.0%	2.0%	100.0%
前年度	7	16	0	20	43	6	3	0	9	0	0	2	2	54

## (11) 計画相談

項 目	利用数	前年度
延べ利用者数	864 人	486 人
サービス等利用計画作成等件数	57 件	70 件
モニタリング報告書作成等件数	100 件	143 件

## 2 訓練部門

### (1) 機能訓練

ア 理学療法は、主に基本動作能力の回復を図るため、運動療法、物理療法、日常生活動作訓練を行い、併せて車イスの採型なども行いました。

イ 作業療法は、作業活動を用いた機能訓練、日常動作訓練と生活環境の調整等を行い、生活の自立に向けて支援しました。

#### ① 機能訓練実施者数

訓練名		実人員	実施延べ人数
理学療法		76	3,964
作業療法		75	3,553
前年度	理学療法	90	8,506
	作業療法	90	7,570

#### ② 障がい別機能訓練実施者数(単位:人)

障がい別	訓練名	
	理学療法	作業療法
脳血管障がい	47	49
脊髄損傷・脊髄疾患	18	17
頭部外傷	3	4
切断	2	1
骨・関節疾患	0	0
脳性麻痺	1	1
神経・筋疾患	5	3
視覚障がい	0	0
その他	0	0
計	76	75
前年実績	90	90

#### ③ 理学療法における車イス等採型件数

項目	採型数	前年度
車イス	2	1
電動車イス	0	0

#### ④ 作業療法におけるスプリント・自助具作製・グループ訓練件数

項目	件数	前年度
スプリント作製	10	2
自助具作製・紹介 (リチャー、食事用・書字用自助具、トランスファーボード等)	106	82
グループ訓練	704	819
計	820	903

#### ⑤ 施設外活動状況

(単位:人)

活動別	訓練部門別	理学療法	作業療法	前年度	
				理学療法	作業療法
家庭訪問		12	12	19	17
職場・施設訪問		3	3	2	4
講師・指導等		0	0	0	5
計		15	15	21	26

(2) 職業能力等

ア 能力開発科、電算事務科、経理事務科を設置し、利用者の個々のニーズと能力に応じた職業(能)訓練を実施し、利用者の就労の促進を図っています。

また、就労を目的としない利用者に対しては、趣味の拡大等への支援を行っています。

イ 自動車運転科を設置し、生活圏の拡大と職業適応力の増大を図るため、障がい者用教習車を用い、運転免許取得及び習熟訓練を目的とした自動車運転訓練を行っています。

ウ 園芸科、木工芸科は休止しています。

① 年間配科別利用者数(日中活動支援付ショートステイ利用者を含む。)

項目	能力開発科	電算事務科	経理事務科	自動車運転科	計	前年度
人員	27	28	19	20	94	174

② 障がい別職業訓練実施者数(日中活動支援付ショートステイ利用者を含む。)(単位:人)

障がい別	訓練名	能力開発科	電算事務科	経理事務科	自動車運転科
脳血管障がい		14	6	10	13
脊髄損傷・脊髄疾患		7	13	7	1
頭部外傷		4	6	0	0
切断		0	0	0	1
骨・関節疾患		0	0	0	0
脳性麻痺		0	0	0	2
神経・筋疾患		2	3	1	1
視覚障がい		0	0	0	0
その他		0	0	1	2
計		27	28	19	20
前年度		50	52	41	31

③ 資格・免許等の取得状況

ア 自動車運転免許取得者

項目	人員	前年度
自動車運転免許取得訓練実施者	1	3
うち 自動車運転免許取得者	1	2

イ コンピュータサービス技能資格取得者(単位:人)

資格	試験日	① 7月6日	前年度
		② 中止	
ワープロ技士	③ 3月14日		
	1級	0	0
	2級	0	0
表計算技士	3級	2	3
	1級	0	0
	2級	0	0
計	3級	1	1
		3	4

ウ 自動車運転訓練実施後の状況

項目	人員	うち復職又は就職者
運転習熟訓練実施者	19	2
自動車免許取得者	1	0

### (3) 高次脳機能障がい者支援(ふるさと社)

高次脳機能障がいを持つ者に対して、医学的診断、心理判定、機能評価を行うほか、ワークトレーニングとして模擬会社「ふるさと社」において、高次脳機能訓練及び職業(能)訓練を行い、社会復帰に向けての支援を行いました。

#### ① 利用対象者数

(単位:人)

実対象者	手帳区分別			利用別		男女別		年代別				
	身体障害者手帳	精神保健福祉手帳	診断書(精神)	入所	通所	男性	女性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代
7	0	7	0	7	0	5	2	3	0	1	3	0
前年度実対象者		6										

#### ② 障がい別対象者数 (単位:人)

頭 部 外 傷	1
脳 血 管 障 が い	6
そ の 他	0

#### ③ 年度末状況 (単位:人)

一般就労(復職含む)	1
福祉的就労	1
利用継続中	2

#### ④ 諸会議開催回数

内 容	回 数
ケース検討会議	8回
ケア会議	6回
職場訪問・見学	6件

### 3 就職等の状況

区分	人員	年 代 別 内 訳					職 業 別 内 訳								前年度	
		20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	専門技術管理	事務	販売	サービス	保安	農林漁業	運輸通信	製造労務		
就職	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3
復職	2	1	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	5

### 4 苦情受付状況

苦 情 内 容	件 数	構 成 比
生 活 に 関 す る こ と	2	28.6%
訓 練 に 関 す る こ と	0	0.0%
利用者の人間関係に関すること	0	0.0%
設 備 に 関 す る こ と	0	0.0%
そ の 他 ( 職 員 へ の 要 望 等 )	5	71.4%
計	7	100.0%
前 年 度	16	

## IV 補装具製作施設

- 1 業務概要
- 2 補装具巡回修理者状況
- 3 補装具製作修理件数
- 4 補装具生產品状況
- 5 疾患別補装具製作修理件数
- 6 市町村別補装具製作修理件数
- 7 補装具製作技術・知識向上研修会
- 8 補装具費支給に係る書類判定件数
- 9 補装具費支給に係る来所・巡回判定件数

## 1 業務概要

医師の指示のもと、障がいのある方、治療が必要な方に補装具の提供を行いました。

市町村の要請により、補装具の巡回修理を行いました。

県内補装具製作者を対象に、知識及び技術の向上を図るため研修会を開催しました。

身体障害者更生相談所業務、補装具費支給に係る判定に専門的立場から協力しました。

なお、台風第19号災害のため、10月13日から休止していた業務は、11月6日から再開しました。

## 2 補装具巡回修理者状況

地区名	人員
中野市	1
計	1
前年度	4

## 3 補装具製作修理件数

区分	摘要	件数	前年度
製作	義肢装具の製作	109	177
修理	義肢装具の修理	145	204
計		254	381

## 4 補装具生産品状況

品名	件数	前年度	品名	件数	前年度	品名	件数	前年度	
股義足	1	2	前腕義手	3	4	股装具	3	2	
大腿義足	5	5	手部義手	0	3	長下肢装具	2	0	
膝義足	0	1	手指義手	2	9	膝装具	5	3	
下腿義足	8	11	頸椎装具	13	25	短下肢装具	43	72	
足根中足義足	0	3	上肢装具	2	1	足底装具	8	19	
上腕義手	1	0	肘装具	0	1	靴型装具 (市販靴の補高)	5	2	
肘義手	1	0	体幹装具	2	0	サポーター	0	4	
							杖類	5	10
							計	109	177

## 5 疾患別補装具製作修理件数

	外来		入院		施設		計	
	件数	前年度	件数	前年度	件数	前年度	件数	前年度
脳損傷	1	3	0	0	0	0	1	3
脳性麻痺	0	2	0	0	0	0	0	2
脊髄損傷	1	7	2	0	0	0	3	7
脊髄性麻痺	3	2	0	0	0	0	3	2
神経変性疾患	3	0	2	2	0	0	5	2
脳血管疾患等のその他	66	90	3	10	11	30	80	130
関節疾患	24	53	2	8	0	0	26	61
脊椎疾患	32	40	4	11	2	0	38	51
切断	81	115	4	1	0	4	85	120
運動器のその他	4	2	2	0	0	0	6	2
その他	7	1	0	0	0	0	7	1
合計	222	315	19	32	13	34	254	381

## 6 市町村別補装具製作修理件数

(単位: 件)

市町村	外来	入院	施設	計	市町村	外来	入院	施設	計
長野市	130	10	6	146	軽井沢町	3	0	0	3
松本市	2	0	0	2	池田町	0	0	1	1
上田市	4	0	0	4	白馬村	1	0	0	1
岡谷市	0	0	1	1	坂城町	2	0	1	3
飯田市	1	0	0	1	小布施町	4	0	0	4
須坂市	21	1	1	23	高山村	4	0	0	4
小諸市	4	0	0	4	山ノ内町	1	0	0	1
伊那市	1	0	0	1	木島平村	0	2	0	2
中野市	17	1	1	19	信濃町	5	0	0	5
大町市	1	0	1	2	小川村	2	0	0	2
飯山市	7	1	0	8	町村計	22	2	2	26
塩尻市	1	0	0	1	十日町	0	1	0	1
佐久市	6	0	1	7	県外計	0	1	0	1
千曲市	5	3	0	8	合計	222	19	13	254
市計	200	16	11	227	前年度	315	32	34	381

## 7 補装具製作技術・知識向上研修会

月 日	内 容	参加者
R1.9.21	オットーボック社ハーモニーP4を使用した下腿義足セミナー	7人

## 8 補装具費支給に係る書類判定件数(義肢装具士の関わったもの)

種 別	件数	種 別	件数	種 別	件数	種 別	件数
義 手	2	体幹装具	4	足底装具	5	電動車いす	1
義 足	8	上肢装具	1	座位保持装置	3	起立保持具	1
下肢装具	128	靴型装具	14	車 い す	4	意思伝達装置	11
						計	182
						前年度	223

## 9 補装具費支給に係る来所・巡回判定件数(義肢装具士の関わったもの)

(単位: 件)

区 分	要否判定	適合判定	計	前年度
来所補装具判定	7	6	13	8
巡回補装具判定	5	5	10	19
計	12	11	23	27



# V 医 療

- 1 業務概要
- 2 月別入院患者状況
- 3 性別、年齢別入院患者状況
- 4 疾患別入院患者状況
- 5 病棟別看護区分状況
- 6 外来患者診療科目別状況
- 7 月別手術状況
- 8 月別薬局処方箋枚数
- 9 麻薬管理状況
- 10 輸血用血液製剤取扱状況
- 11 薬剤管理指導算定件数
- 12 放射線業務実績表
- 13 検査室検査項目別件数
- 14 リハビリテーション(PT. OT. ST)実施延人数
- 15 リハビリテーション(PT. OT. ST)疾患群別実施単位数
- 16 疾患別リハビリテーション(PT. OT. ST)実人数
- 17 作業療法におけるスプリント・自助具作製、運転評価件数

## 1 業務概要

整形外科医師を中心に、機能訓練(理学・作業・言語)、看護、薬剤、検査、X線、義肢装具部門をそろえています。整形外科及び脳神経内科病院(80床)として、手・関節・脊椎外科、ペインクリニック、脳神経内科等の専門的高度医療により、障害程度の軽減と障害発生の未然防止に努めています。

なお、台風第19号災害のため、10月13日から診療を休止していましたが、外来診療については11月11日から病棟2階で再診のみ再開、2月28日からは管理医療棟で本格再開しました。

入院診療については、12月28日から施設棟2階で、災害により他院へ転院していた患者のみの受入を再開し、3月30日からは病棟での入院を本格再開しました。

### 外来診察日及び担当医師

- 整形外科 (月曜日) 立岩 裕、依田 功  
(火曜日) 清野 良文、上條 哲義  
(水曜日) 立岩 裕、依田 功  
木下 久敏(第1、第3、第5)  
(木曜日) 清野 良文、上條 哲義  
(金曜日) 立岩 裕、依田 功
  - 脳神経内科・内科 (月・水・木曜日) 田丸 冬彦  
(金曜日) 高松 良太
  - リハビリテーション科 (月～金曜日) 田丸 冬彦、清野 良文、上條 哲義
  - 麻酔科 (月・金曜日) 笠間 進
  - 泌尿器科 (金曜日)月2回 井川 靖彦
- \* 午前又は午後のみを含む。

## 2 月別入院患者状況

(単位: 人・日)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度
月末 在院 患者 数	1 階	23	25	24	26	20	21	0	0	0	4	8	9	160	320
	2 階	14	25	28	18	21	24	0	0	0	0	0	0	130	298
	計	37	50	52	44	41	45	0	0	0	4	8	9	290	618
*入 院患 者 数	1 階	5	9	6	10	7	7	7	0	0	5	4	1	61	99
	2 階	34	34	37	32	36	28	11	0	0	0	0	0	212	476
	合 計	39	43	43	42	43	35	18	0	0	5	4	1	273	575
退 院 患 者 数	1 階	11	7	7	9	13	6	28	0	0	1	0	0	82	106
	2 階	38	23	34	41	33	25	35	0	0	0	0	0	229	476
	計	49	30	41	50	46	31	63	0	0	1	0	0	311	582
在 院 延 日 数	1 階	801	701	773	775	700	629	277	0	0	88	209	257	5,210	9,885
	2 階	619	619	781	711	827	601	294	0	0	0	0	0	4,452	9,904
	計	1,420	1,320	1,554	1,486	1,527	1,230	571	0	0	88	209	257	9,662	19,789
平 均 在 院 日 数	1 階	95.4	91.6	101.2	93.8	86.5	81.0	47.3	37.8	15.9	29.4	59.4	100.8	70.0	94.5
	2 階	20.5	20.8	20.2	21.1	21.8	22.0	20.5	18.1	12.8	0.0	0.0	0.0	14.8	20.7
	計	34.3	35.2	35.1	35.1	34.5	34.4	28.3	24.6	14.1	29.4	59.4	100.8	38.8	33.9
1日平均 入院患者数		47.3	42.5	51.8	47.9	49.2	41.0	18.4	0.0	0.0	2.8	7.2	8.2	26.3	54.2
ベッド 利用率(%)		61.2	54.4	66.4	61.9	63.4	52.5	25.5	0.0	0.0	3.5	9.0	10.3	34.0	69.7

(注)入院患者数のうち、病棟間の移動患者は移動元で計上。



## 5 病棟別看護区分状況

(単位: 人)

区分 定数	1日平均患者数	内 訳		
		重看護・担送患者数	護送患者数	独歩患者数
1階病棟(40)	14.3	4.5	6.8	3.0
2階病棟(40)	12.2	1.4	8.3	2.5
計(80)	26.5	5.9	15.1	5.5
構成比(%)	100.0	22.3	57.0	20.7
前年度計(80)	54.2	13.5	31.3	9.4

\*1日付き添い数                      2階病棟    0.082    人  
 付き添い患者1人当りの  
 付き添い日数                      2階病棟    3.0        日

## 6 外来患者診療科目別状況

(単位: 人・日)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度
整形外科	一般	998	913	897	1,050	985	898	562	478	437	374	357	454	8,403	11,540
	病棟	1	3	3	1	3	3	1	0	0	0	0	0	15	21
内脳 科神 経内 科	一般	228	186	197	226	250	184	110	187	151	125	161	231	2,236	2,715
	病棟	3	3	34	34	0	1	0	0	0	0	0	2	77	31
麻酔科	一般	29	21	26	27	33	28	20	19	29	25	32	36	325	301
	病棟	3	6	3	3	5	2	3	0	0	1	0	0	26	85
リハビリ科	一般	280	287	278	299	288	299	134	110	236	255	238	228	2,932	4,618
	病棟	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泌尿器科	一般	61	47	34	42	42	41	27	14	20	33	32	43	436	548
	病棟	4	5	4	6	12	8	5	0	0	3	4	3	54	126
計	一般	1,596	1,454	1,432	1,644	1,598	1,450	853	808	873	812	820	992	14,332	19,722
	病棟	11	17	44	44	20	14	9	0	0	4	4	5	172	263
1日平均患者数		79.8	76.5	71.6	74.7	76.0	76.3	40.6	40.4	43.6	42.7	45.5	47.2	59.7	80.8
診療実日数		20	19	20	22	21	19	21	20	20	19	18	21	240	244

## 7 月別手術状況

(単位: 人)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度
1 上肢の機能再建術	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2 手の手術 (外傷、腫瘍、炎症を含む)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
3 その他上肢の手術 (外傷、腫瘍、炎症を含む)	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1
4 人工股関節置換術	8	4	5	5	6	6	3	0	0	0	0	0	37	88
5 人工膝関節置換術	4	7	9	7	5	5	4	0	0	0	0	0	41	76
6 関節鏡及び鏡視下手術	3	3	2	3	2	2	1	0	0	0	0	0	16	26
7 鏡視下手術(脊椎)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8 下肢の機能再建術	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
9 足の手術 (外傷、腫瘍、炎症を含む)	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	4	3
10 その他下肢の手術 (外傷、腫瘍、炎症を含む)	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	4	9
11 脊椎の手術	8	9	19	16	22	6	6	0	0	0	0	0	86	181
12 絞扼性神経障害の手術 (尺骨神経、正中神経)	2	2	1	0	0	3	1	0	0	0	0	0	9	10
13 四肢の断端形成	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
14 褥瘡の手術	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	3	1
15 手足の先天奇形の手術	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16 その他の手術 (バネ指、抜釘等)	2	0	2	3	3	1	1	0	0	0	0	0	12	27
17 そ の 他 (神経ブロック)	8	7	6	10	9	6	4	0	0	0	0	0	50	90
計	35	36	45	45	51	31	21	0	0	0	0	0	264	518

## 8 月別薬局処方箋枚数

月 項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度
処方箋数	1,247	1,095	1,154	1,306	1,357	1,121	506	21	58	342	440	512	9,159	15,364
注射処方 箋枚数	145	178	185	147	212	123	89	0	0	0	0	2	1,081	1,848

## 9 麻薬管理状況

(麻薬年度:H30.10.1~R1.9.30)

区分		単位	数量
期 始 在 庫	錠 剤	錠	49
	貼付薬	枚	21
	注射液	管	175
受 入	錠 剤	錠	0
	貼付薬	枚	240
	注射液	管	1,505
払 出	錠 剤	錠	0
	貼付薬	枚	240
	注射液	管	1,408
廃 棄	錠 剤	錠	14
	注射液	管	0
期 末 在 庫	錠 剤	錠	35
	貼付薬	枚	21
	注射液	管	272

## 10 輸血用血液製剤取扱状況

種 類	取扱数 (本)	輸血数 (本)
照射赤血球液 — LR「日赤」200	0	0
照射赤血球液 — LR「日赤」400	9	9
照射赤血球M・A・P 「日赤」200	0	0
照射赤血球M・A・P 「日赤」400	0	0
照射濃厚血小板 10 単	0	0
自 己 血 200ml	44	35
自 己 血 400ml	39	34
新鮮凍結血漿 — LR「日赤」120ml	0	0
新鮮凍結血漿 — LR「日赤」240ml	0	0
合 計	92	78

種 類	数量 (本)	使用量 (g)
アルブミン製剤	0	0

## 11 薬剤管理指導算定件数

科 名	件数	前年度
整形外科	9	31
脳神経内科	1	0
麻酔科	0	1
計	10	32

## 12 放射線業務実績表

(単位: 件)

項 目	件数	前年度		
撮 影 部 門	一 般 撮 影	頭 部	5	6
		胸 部	300	569
		腹 部	83	107
		脊 椎	1,954	3,721
		関 節	2,888	5,175
		そ の 他	942	1,133
	計	6,172	10,711	
	ポータブル撮影 (再掲)	手 術 室	214	431
		病 室	32	36
	計	246	467	
骨 密 度 測 定	163	246		
透 視 ・ 造 影 撮 影 部 門	尿 路 系	2	5	
	脊 髓 腔 系	89	203	
	関 節 腔 系	0	0	
	そ の 他	0	1	
	計	91	209	
	造 影 を 伴 わ ない 透 視	56	105	
外 科 用 イ メ ー ジ	37	96		
計	93	201		
C T	頭 部	31	65	
	胸 部	13	18	
	腹 部	15	27	
	脊 椎	270	545	
	関 節	88	242	
	そ の 他	2	4	
計	419	901		
依 頼 検 査 (再 掲)	0	0		
M R I	頭 部	40	99	
	胸 部	0	0	
	腹 部	1	2	
	脊 椎	564	1,133	
	関 節	128	214	
	そ の 他	3	1	
計	736	1,449		
依 頼 検 査 (再 掲)	20	36		

### 13 検査室検査項目別件数

項 目	今 年 度		前 年 度	
	件 数	外注件数	件 数	外注件数
生 化 学	32,886	4,745	65,086	211
血 液 学	3,687	497	7,401	4
一 般	788	0	1,262	0
血 清 学	2,865	131	5,840	102
生 理 学	911	0	1,563	0
微 生 物 学	316	202	682	197
輸 血	238	0	482	3
貯血介助・保管	76	0	160	0
病 理 学	0	3	0	8
そ の 他	57	206	94	120
計	41,824	5,784	82,570	645
合 計	47,608		83,215	

### 14 リハビリテーション(PT. OT. ST)実施延人数

	理学療法科			作業療法科			言語聴覚療法科			
	入院	外来	計	入院	外来	計	入院	外来	施設	計
延 べ 人 数	6,605	2,381	8,986	3,627	1,028	4,655	1,211	604	256	2,071
前 年 度	13,358	3,475	16,833	6,918	1,153	8,071	2,245	761	928	3,934

### 15 リハビリテーション(PT. OT. ST)疾患群別実施単位数

		理学療法科			作業療法科			言語聴覚療法科			
		入院	外来	計	入院	外来	計	入院	外来	施設	計
脳血管	R1	7,448	3,143	10,591	6,668	1,808	8,476	2,231	1,186	517	3,934
	H30	15,506	3,154	18,660	12,664	1,974	14,638	4,082	1,451	1,828	7,361
廃用性	R1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	H30	26	0	26	19	0	19	0	0	0	0
運動器	R1	8,508	1,551	10,059	641	127	768	0	0	0	0
	H30	15,868	3,418	19,286	974	152	1,126	0	0	0	0
呼吸器	R1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	H30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	R1	15,956	4,694	20,650	7,309	1,935	9,244	2,231	1,186	517	3,934
	H30	31,400	6,572	37,972	13,657	2,126	15,783	4,082	1,451	1,828	7,361

## 16 疾患別リハビリテーション(PT. OT. ST) 実人数

(単位: 人)

患者別 疾患別		理学療法			作業療法			言語聴覚療法			
		入院	外来	計	入院	外来	計	入院	外来	施設	計
脳血管	脳疾患	22	16	38	28	38	66	25	20	13	58
	脳損傷	1	3	4	3	7	10	2	3	0	5
	脳性麻痺	0	3	3	0	2	2	0	0	0	0
	脊髄損傷	16	12	28	21	9	30	1	0	0	1
	脊髄疾患	21	9	30	16	3	19	0	0	0	0
	神経変性疾患	6	21	27	10	6	16	0	5	0	5
	その他	5	7	12	1	2	3	1	5	0	6
廃用性症候群		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
運動器	関節疾患	111	25	136	43	3	46	0	0	0	0
	脊椎疾患	84	20	104	4	0	4	0	0	0	0
	骨折	12	5	17	0	1	1	0	0	0	0
	切断	5	1	6	2	1	3	0	0	0	0
	その他	4	4	8	1	1	2	0	0	0	0
呼吸器疾患		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		287	126	413	129	73	202	29	33	13	75
前年度		537	176	713	234	101	335	40	48	27	115

## 17 作業療法におけるスプリント・自助具作製、運転評価件数

項目	件数	前年度
スプリント作製	54	154
自助具作製・紹介 リーチャー、食事用・書字用自助具 トランスファーボードなど	129	304
運転評価	25	50

# VI そ の 他

- 1 栄養管理の状況
  - (1) 給食食数
  - (2) 選択メニュー
  - (3) 栄養食事指導件数
  - (4) 病室訪問・栄養相談等
  - (5) 個別対応実人数
  - (6) 病院栄養管理
  - (7) 施設栄養ケアマネジメント
- 2 学会・研究会などの参加状況
- 3 学会・研究会等での研究発表状況
- 4 研修会講師派遣等の状況
- 5 実習生の受け入れ状況
- 6 見学者等の状況
- 7 出前講座の開催状況
- 8 台風第19号災害による被害と復旧について

# 1 栄養管理の状況

## (1) 給食食数

(単位: 食)

月別	病 院				施 設					そ の 他			一般計 (B)+ (C)	合 計 (A)+(B)+ (C)	前年度	
	一般食	特別食		病院 検食	計(A)	入 所		ショート ステイ 通所	施設 検食	計(B)	付 添 食	職員				計(C)
		加算	非加算			一般食	特別食									
4	2,118	663	1,252	210	4,243	1,665	1,031	69	94	2,859	0	184	184	3,043	7,286	8,582
5	1,957	735	998	217	3,907	1,495	897	108	97	2,597	3	174	177	2,774	6,681	8,822
6	2,052	1,179	1,352	210	4,793	1,419	693	105	94	2,311	2	181	183	2,494	7,287	8,444
7	1,885	1,144	1,221	217	4,467	1,297	883	159	97	2,436	0	181	181	2,617	7,084	8,614
8	1,691	1,432	1,063	217	4,403	1,466	873	115	97	2,551	7	171	178	2,729	7,132	8,622
9	1,394	1,164	741	210	3,509	1,358	848	177	94	2,477	3	149	152	2,629	6,138	8,305
10	850	454	383	89	1,776	523	385	51	40	999	0	72	72	1,071	2,847	9,039
11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8,335
12	0	0	0	0	0	11	8	0	33	52	0	11	11	63	63	8,731
1	235	19	0	154	408	284	332	0	97	713	0	138	138	851	1,259	8,049
2	376	151	71	174	772	564	439	0	91	1,094	0	128	128	1,222	1,994	8,303
3	463	95	183	190	931	788	600	94	97	1,579	0	139	139	1,718	2,649	9,108
合計	13,021	7,036	7,264	1,888	29,209	10,870	6,989	878	931	19,668	15	1,528	1,543	21,211	50,420	102,954
日平均	35.6	19.2	19.8	5.2	79.8	29.7	19.1	2.4	2.5	53.7	0.0	4.2	4.2	58.0	137.8	282.1
割合	44.6%	24.1%	24.9%	6.4%	100.0%	55.3%	35.5%	4.5%	4.7%	100.0%	1.0%	99.0%	100.0%	—	—	—
前年	30,708	14,566	10,146	2,555	57,975	22,735	17,089	1,773	1,143	42,740	8	2,231	2,239	44,979	102,954	
日平均	84.1	39.9	27.8	7.0	158.8	62.3	46.8	4.9	3.1	117.1	0.0	6.1	6.1	123.2	282.1	
割合	53.0%	25.1%	17.5%	4.4%	100.0%	53.2%	40.0%	4.1%	2.7%	100.0%	0.4%	99.6%	100.0%	—	—	

(注) 10月13日～12月27日 台風第19号災害により患者・利用者転院のため食事提供なし

## (2) 選 択 メ ニ ュ ー

区分	選択メニュー		バイキング		セレクト(デザート・寿司)		前年度(選択メニュー)	
	実施回数	実施人員	実施回数	実施人員	実施回数	実施人員	実施回数	実施人員
病院	43	1,813	0	0	1	41	72	3,935
施設		1,147	1	27	0	0		2,941

## (3) 栄養食事指導件数

区 分		件 数	前年度
個別	入院	指導料請求	16
		その他	7
	外来	指導料請求	13
		その他	0
施設	4	7	
集 団 指 導		0	0

## (4) 病室訪問・栄養相談等

区分	件 数	前年度
病院	1,072	2,239
施設	126	191

## (5) 個別対応実人数

区分	人 数	前年度
病院	224	541
施設	179	258

## (6) 病院栄養管理

区 分	件 数	前年度
計 画 書 作 成 件 数	250	488
計 画 評 価 件 数	1,299	2,592

## (7) 施設栄養ケアマネジメント

区 分	件 数	前年度
計 画 書 作 成 件 数	87	185
計 画 実 施 件 数	6,148	13,799
計 画 評 価 件 数	268	560

## 2 学会・研究会などの参加状況

(総務課)

月 日	学会・研究会等の名称	開催地	参加人数
R1.5.31	事務管理者研修会	東京都	1人
R1.7.20	第28回診療報酬請求事務セミナー	東京都	1人
R1.9.27	第20回日本医療情報学会看護学術大会	東京都	1人
R1.12.20	医療経営フォーラム2019	東京都	1人

(更生相談室)

R1.7.5	全国身体障害者更生相談所長協議会	東京都	2人
R1.7.10～7.12	福祉機器専門職員研修会	埼玉県	1人
R1.8.23	高次脳機能障害支援普及事業関東甲信越ブロック・東京ブロック合同会議	埼玉県	1人
R1.10.18	関東甲信越地区身体障害者更生相談所長協議会	横浜市	1人
R1.10.25	関東甲信越地区身体障害者更生相談所職員研究協議会	新潟県	1人
R2.1.17	長野県福祉関係職員専門研修(専門課程)	長野市	2人
R2.2.1	高次脳機能障害研修会(北信地域)	長野市	4人

(栄養課)

H31.4.13	第6回臨床栄養実践協会記念セミナー	東京都	1人
R1.7.4	長野県自治体病院協議会栄養部会研修会	松本市	1人
R1.7.20	リハ栄養フォーラム2019	東京都	1人
R1.10.10	日本人の食事摂取基準2020版研修会	名古屋市	1人

(生活支援課)

R1.6.11、6.14 6.20～21、7.23 8.29～30	障がい者相談支援従事者初任者研修	長野市	1人
R1.6.27～6.28	高次脳機能障害支援事業関係職員研修会	埼玉県	1人
R1.8.7	長野県災害派遣福祉チーム員養成研修	長野市	1人
R1.8.9	第6回あいサポートメッセンジャー養成研修	長野市	1人
R1.10.9	サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者更新研修	松本市	2人
R1.10.21	障害福祉サービス事業所の管理者向け障がい者虐待防止・権利擁護研修	長野市	1人
R1.11.1	災害対応に係るケアマネジャー・相談支援専門員のための制度学習会	長野市	2人
R2.1.15、1.16	障がい者相談支援従事者現任研修	松本市	1人
R2.2.1	高次脳機能障害研修会(北信地域)	長野市	2人
R2.2.19	令和元年度第3回障害者虐待防止・権利擁護研修会	長野市	1人

(訓練課)

R1.9.18	交通安全に係る職員研修会	長野市	1人
R1.12.14	高次脳機能障害研修会	塩尻市	3人
R2.2.1	高次脳機能障害研修会	長野市	4人

## (医務科)

H31.4.18～20	第48回日本脊椎脊髄病学会	横浜市	1人
R1.5.9～12	第92回日本整形外科学会学術総会	横浜市	2人
R1.5.29～6.1	第66回日本麻酔科学会	神戸市	1人
R1.6.14～16	第56回日本リハビリテーション医学学会	神戸市	2人
R1.7.17～20	第53回日本ペインクリニック学会	熊本市	1人
R1.8.17	信州大学整形外科関連病院医長会議 第124回信州整形外科懇談会	松本市	1人
R1.11.7	第39回日本臨床麻酔学会	軽井沢町	1人
R1.10.26	第23回日本医療ガス学会	東京都	1人
R1.11.16～17	第3回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会	静岡市	1人
R2.1.22～23	院内感染対策講習会	東京都	1人

## (薬剤検査科)

R1.6.15	令和元年度長野県職員臨床検査技師会研修会	長野市	2人
R1.7.16	地域公開輸血療法研修会	長野市	2人
R1.8.3	第15回長野超音波セミナー	佐久市	1人
R1.9.29	フクダ電子 腹部超音波講習会	東京都	1人
R1.11.29	超音波スクリーニング研修講習会2019五反田	東京都	1人
R1.12.7	第16回県立病院等合同研究会	阿南町	1人
R2.1.22～23	院内感染対策講習会	東京都	2人
R2.2.15	医療安全研修会	長野市	3人

## (放射線技術科)

R1.9.14～15	第35回日本診療放射線技師学術大会	埼玉県	1人
------------	-------------------	-----	----

## (理学療法科)

R1.6.9	運動器疾患の「なぜ？」を紐解くために必要な解剖学と運動学～下肢の運動機能障害に対する評価とアプローチの考えを中心に～	東京都	1人
R1.6.9	リハスタッフのための薬剤の基礎知識	愛知県	1人
R1.7.13～7.14	第35回日本義肢装具学会学術大会	宮城県	1人
R1.7.14～7.15	理学療法士講習会(応用編)生態心理学的概念に基づいた運動療法～理学療法士としての身体づくり～	和歌山県	1人
R1.9.1	筋・骨格系の解剖学の再考・再学習～解剖学的理解に基づいた臨床症状の病態把握・クリニカルリーズに繋げるために～	愛知県	1人
R1.9.6～9.8	脳のシステム障害とアプローチ	三重県	1人
R1.9.7	第8回日本支援工学理学療法学会	静岡県	1人
R1.9.28～9.29	第17回日本神経理学療法学会学術大会	神奈川県	1人
R1.10.4～10.6	第7回日本運動器理学療法学術大会	岡山県	1人
R1.10.6	痛みを取るための評価と治療技術	東京都	1人

## (作業療法科)

R1.5.11～12	第5回 認知作業療法研究会学術大会 in長野	長野市	1人
R1.6.9	第35回長野県作業療法学術大会	松本市	8人
R1.6.27～28	令和元年度 高次脳機能障害支援事業関係職員研修会	所沢市	1人
R1.6.28	北信地区身障OT研究会(R1年度第1回定例会) 伝達講習「明日から使える上肢機能」	長野市	2人
R1.7.24,31,8.7	令和元年度就業支援基礎研修	松本市	1人
R1.8.29	北信地区身障OT研究会(R1年度第2回定例会) 総合リハビリテーションセンターにおける運転再開支援について	長野市	8人
R1.9.6～8	第53回 日本作業療法学会	福岡市	1人
R1.9.29	第63回 長野県作業療法士会研修会	辰野町	3人
R1.10.9～11	令和元年度作業療法士・理学療法士研修会	所沢市	1人
R1.11.8	北信地区身障OT研究会(R1年度第3回定例会) 関節ファシリテーションの紹介	千曲市	1人
R1.11.27	令和元年度 第3回 職場適応援助者養成研修・支援スキル向上研修 了者サポート研修	長野市	6人
R1.11.30～12.1	第1回臨床実習指導者研修	松本市	1人
R1.12.6	令和元年度 関東・甲信越エリア 就業支援実践研修	東京都千代田区	1人
R1.12.7	第16回 県立病院合同研究会	阿南町	2人
R1.12.9	長野障害者職業センター「職業準備支援」体験研修	長野市	5人
R1.12.13～14	第4回 日本安全運転・医療研究会	福井市	1人
R1.12.25	コミュニケーション機器デモンストレーション研修会	長野市	1人

## (言語聴覚療法科)

R.1.9.21～22 12.7～8 1.25～26	日本語聴覚士協会 認定言語聴覚士講習会(失語症・高次脳機能障害領域)	東京都	1人
----------------------------------	------------------------------------	-----	----

## (義肢装具科)

R1.6.29	オットーボックセミナー2019義足メカトロニックパーツ	東京都	1人
R1.7.13～14	第35回日本義肢装具学会学術大会	宮城県	1人
R2.2.6～7	小児筋電義手研修会	埼玉県	1人

## (看護部)

R1.5.25	日本医療マネジメント学会長野県支部学術集会	岡谷市	4人
R1.5.23～25	第67回日本輸血細胞治療学会	熊本市	1人
R1.6.1	固定チームナーシング研究会	松本市	2人
R1.6.12～	看護補助者活用推進管理者研修	松本市	1人
R1.6.19～21	看護職認知症対応力向上研修	安曇野市	2人
R1.6.22	長野県中材業務研究会	松本市	2人
R1.6.27～28	高次脳機能障害支援事業関係職員研修	所沢市	1人
R1.6.29	間歇導尿指導認定セミナー	京都市	1人

(看護部)

R1.7.13～	コンチネンス初級セミナー	長野市	1人
R1.7.8～	感染管理研修3回コース	長野市	1人
R1.7.12～	医療安全研修 心電図コース3回	長野市	1人
R1.8.24	長野県手術研究会	中野市	2人
R1.9.7	周術期管理チームセミナー	東京都	2人
R1.9.7	第148回日本輸血細胞治療学会関東甲信越支部例会	東京都	1人
R1.9.11～	認定看護管理者研修ファーストレベル	松本市	1人
R1.9.14	入退院支援・退院調整基礎研修	長野市	2人
R1.9.27～28	第20回日本医療情報学会看護学術大会	東京都	1人
R1.9.29	高次脳機能障害実践的アプローチ講習会	東京都	1人
R1.10.2	看護学生等実習指導者講習会公開講座	松本市	2人
R1.10.5	第41回信州排尿QOL研究会	松本市	3人
R1.10.6	長野県看護管理者会研修会	松本市	1人
R1.11.9	日本コンチネンス協会県支部事例検討会	長野市	3人
R1.11.23	長野県看護師輸血療法セミナー	松本市	2人
R1.12.7	第16回 県立病院合同研究会	阿南町	2人
R1.12.9～10	医療安全管理者養成研修会	東京都	1人
R2.1.22～23	院内感染対策講習会	東京都	1人
R2.1.26	第45回排尿管理研究会	京都市	1人
5月～11月	長野県看護協会研修各種参加	松本市	

### 3 学会・研究会等での研究発表状況

(栄養課)

月 日	発表した学会・研究会等の名称	テーマ	発表者
R1.7.4	長野県自治体病院協議会栄養部会研修会	喫食率UPへの食支援	堀内亜矢子

(薬剤検査科)

R1.8.28	第1回院内感染対策研修会	当センターの『院内感染対策マニュアル』	上田 ひろみ
---------	--------------	---------------------	--------

(作業療法科)

R1.6.9	第35回長野県作業療法学術大会	重度運動失調を呈した事例に対する食事環境へのアプローチについて	白井 和香菜 他
R1.9.6～8	第53回 日本作業療法学会	障害者支援施設における園芸活動の取り組み ～農福連携の可能性を見据えた一考察～	福田 文康 他
R1.12.7	第16回県立病院等合同研究会	支援部(障害者支援施設)における園芸活動の取り組み -作業療法の視点で農福連携の可能性を見据えた一考察-	福田 文康 他

(看護部)

R1.5.25	第67回日本輸血細胞治療学会	貯血式自己血輸血採血後の遅発性副反応における対策前後の発生率の変化と効果	田中 千夏
R1.7.19	第52回リハビリテーション研究会	脊髄損傷者のうち、排便コントロール不良が遷延する要因	宮島 知美
R1.12.7	第16回県立病院等合同研究会	骨粗鬆症治療薬の在宅自己注射をしている患者に関する実態調査	傳田 和美
R2.1.26	第45回排尿管理研究会	頸髄損傷患者の排尿管理自立に向けた看護の関わり	植木 敬子

#### 4 研修会講師派遣等の状況

(理学療法科)

月 日	派遣した研修会等の名称	テーマ	発表者
H31.4.17、4.24 R1.5.8、5.15	須坂看護専門学校2年過程	リハビリテーション学 理学療法学	内山 明美
R1.6.12	障がい者支援施設須坂悠生寮職員研修	リハビリテーション指導について	清水果奈子
R1.6.19	市町村補装具担当者研修会	車いす・電動車いす・座位保持装置について	竹下 靖 土屋 孝史
R1.6.26	脊髄損傷学習会	車いすの基本	土屋 孝史
R1.6.28	出前講座(日本総合建設株式会社)	腰痛予防教室	小出まどみ 宮崎 千章
R1.9.5	所内学習会総務課	転倒転落時の対応	小出まどみ
R1.9.11	出前講座(長野市地域包括支援センター 芹田)	腰痛予防・転倒予防	丸山 厚子 藤澤 康大
R1.10.3、10.4	出前講座(山ノ内町社会協議会)	リハビリテーション(転倒予防・腰痛予防)	竹下 靖 石坂 渉
R1.11.6	出前講座(公益財団法人介護労働安定 センター長野支部)	リハビリテーション 身体の動きを知って ラクラク介護	中澤 卓美 清水果奈子
R2.2.18	障がい者支援施設須坂悠生寮職員研修	リハビリテーション指導について	柳澤 友紀

(作業療法科)

R1.5.22、6.5	須坂看護専門学校2年過程	リハビリテーション学 作業療法 ADL、高次脳機能障害について	竹内晴美
R1.7.1	出前講座(障害者施設すまいる)	高次脳機能障害について	鶴田真由美 福田文康
R1.8.29	北信地区身障OT研究会 R1年度第2回定例会	当センターにおける運転再開支援について	竹内晴美 松井典子 鶴田真由美
R1.10.5	長野県在宅難病患者コミュニケーション 支援事業 専門指導研修会	コミュニケーション機器 スイッチの適合について	竹内晴美 松井典子 鶴田真由美 和田由紀 柴野雄作 臼井和香菜

(言語聴覚療法科)

R1.6.12	須坂看護専門学校2年過程	リハビリテーション学 言語聴覚療法学	竹内 洋彦
R2.2.5	長野県言語聴覚士会北信地区勉強会	認知症を伴うコミュニケーション障害の マネジメント	竹内 洋彦

(義肢装具科)

R1.6.19	補装具費支給事務専門研修会	義肢、装具について	河田 新也
---------	---------------	-----------	-------

(看護部)

R1.6.7、6.21	複合福祉施設 アイリス茅野 職員研修	高齢者の皮膚、排泄ケア、褥瘡予防	植木 敬子
R1.8.7	長野県シニア大学北信学部	高齢者のスキンケア	植木 敬子
R1.7.13	日本コンチネンス協会長野支部	初級セミナー(タスク)	植木 敬子
R1.8.17	〃	〃	〃
R1.11.9	〃	〃	〃

## 5 実習生の受け入れ状況

(生活支援課)

月 日	学校・施設名	人数
R1.6.3～7.2	信州スポーツ医療福祉専門学校 介護実習	2人
R1.10.7～10.13	長野社会福祉専門学校 介護実習	1人

(理学療法科)

H31.4.1～R1.5.24	信州大学医学部保健学科理学療法学専攻 臨床実習 I	1人
R1.5.27～7.19	信州リハビリテーション専門学校 臨床実習 I	1人
R1..6.6	長野保健医療大学 1年見学実習	12人
R1.6.25～6.27	長野盲学校 見学実習	1人
R1.8.26～9.13	長野保健医療大学 臨床評価実習(3年)	1人
R1.9.30～10.11 *台風水害ため 途中中止	長野保健医療大学 臨床実習Ⅱ期	1人

(作業療法科)

R1.6.6	長野保健医療大学 1年 見学実習	12人
R1.6.24～8.16	長野保健医療大学 4年 臨床実習	1人

(言語聴覚療法科)

R1.7.22～9.13	長野医療衛生専門学校言語聴覚士学科・総合実習	1人
--------------	------------------------	----

(義肢装具科)

R1.6.17～7.26	新潟医療福祉大学 4年 臨床実習	1人
--------------	------------------	----

(看護部)

R1.5.8	長野県看護協会 一日看護師体験 3校	6人
R1.5.16	上田看護専門学校 准看護学科 2年生	25人

## 6 見学者等の状況

(更生相談室)

月別	区分	福祉関係団体等		学 校		そ の 他		計	
		件 数	人 数	件 数	人 数	件 数	人 数	件 数	人 数
7月		0	0	3	5	0	0	3	5
8月		0	0	3	14	0	0	3	14
9月		1	40	1	40	0	0	2	80
10月		0	0	1	2	0	0	1	2
計		1	40	8	61	0	0	9	101

## 7 出前講座の開催状況

(更生相談室)

開催日	申込者	開催地	参加者数	派遣職員
R1.6.7	複合福祉施設アイリス茅野	茅野市	20人	看護師1人
R1.6.21	複合福祉施設アイリス茅野	茅野市	20人	看護師1人
R1.6.28	日本総合建設㈱	長野市	45人	理学療法士2人
R1.7.1	障害者施設すまいる	長野市	15人	作業療法士2人
R1.8.7	長野県シニア大学北信学部	中野市	23人	看護師1人
R1.9.11	長野市地域包括支援センター芹田	長野市	13人	理学療法士2人
R1.10.3	山ノ内町社会福祉協議会	山ノ内町	48人	理学療法士2人
R1.10.4	山ノ内町社会福祉協議会	山ノ内町	33人	理学療法士2人
R1.11.6	介護労働安定センター 長野支部	長野市	20人	理学療法士2人

## 8 台風第19号災害による被害と復旧について

### 1 台風第19号災害の発生

令和元年 10月12日(土)

(15:30 長野県全域に大雨特別警報が発令)

18:30 職員を非常参集

病棟1階患者を2階病棟に、施設棟1階入所者を2階に垂直避難

10月13日(日)

(早朝 千曲川の堤防が決壊)

6:00 施設棟入所者を施設棟2階から管理医療棟3階に避難

〔 建物1階の床上 40cm程度浸水。  
受変電施設、自家発電施設、ボイラー設備も浸水 〕

6:30 当センター内に浸水が始まる。

D-MAT隊に患者・入所者の他病院への転院を依頼。夕方までに転院完了

入院・入所者数	57人
他病院に転院	29人 (6病院)
自宅へ帰宅	28人

### 2 業務再開までの状況

令和元年 10月16日 更生相談室の業務再開

身体障害者手帳の交付や補装具・更生医療に係る判定等を行う「更生相談室」の業務を再開

11月6日 補装具製作施設の業務を再開

義手・義足・装具などの補装具の製作・修理業務を再開

11月11日 外来診療の再開

2階病棟の病室を活用し、再来患者を中心に外来診療を再開

12月28日 支援施設での受入れ再開

障がい者支援施設において入所者の受入れを再開。併せて、施設の一部を仮使用し、病院の入院の再開(被災により他病院等に転院していただいた患者、入所者に順次センターにお戻りいただいた。)

令和2年2月28日 管理医療棟で外来診療を本格再開

病棟2階の病室を活用し再開していた外来診療を、本来の管理医療棟1階外来スペースで開始

3月30日 病棟での入院患者の受入れ再開(センターの機能回復)

病棟1階での入院を再開。設備・医療機器の復旧の終わり、センター機能を回復

[国・県等の現地調査]

令和元年 10 月 21 日	阿部長野県知事 現地調査
10 月 25 日	羽生田参議院議員・関長野県医師会長 現地調査
11 月 4 日	厚生労働省 小島政務官 現地調査
11 月 7 日	長野県議会災害対策連絡本部員及び常任委員会委員長 現地調査
12 月 12 日	長野県議会県民文化健康福祉委員会 現地調査

3 施設・設備の復旧の状況

(1) 補正予算の状況 (11 月補正)

目的: 台風第19号により被災した総合リハビリテーションセンターの早期復旧を図るため、施設修繕を実施

補正額: 765,933千円

(財源 国庫 510,621 千円、県債 253,000 千円、一般財源 2,312 千円)

(2) 施設・設備の復旧費用

復旧費用総額 666,915千円

・工事費 244,434千円

(浸水した1階部分の改修、受変電設備・自家発電機・ボイラー等設備修繕工事費)

・備品購入費 324,959千円 (浸水により使用不可能となった医療機器の更新(購入)費)

[更新した主な高額医療機器]

CT 98,000 千円

MRI 96,400 千円

自動生化学分析装置 20,568 千円

全自動錠剤分包機 10,480 千円

・その他費用 97,523千円 (医療機器の修繕、仮設設備の設置、燃料費等)

---

---

令和元年度 事業年報

令和2年8月発行

編集発行

長野県立総合リハビリテーションセンター

〒381-8577 長野市大字下駒沢618-1

電話 026-296-3953

FAX 026-296-3943

ホームページ・アドレス(URL)

<http://www.pref.nagano.lg.jp/rehabili/index.html>

---

---

